

## 第4回常任理事会報告

日 時 平成22年7月5日（月）午前11時～午後0時20分  
場 所 日本歯科医師会 801会議室  
出席者 <会 長> 江藤一洋  
<副 会 長> 住友雅人、井出吉信  
<総務理事> 黒崎紀正  
<常任理事> 川添堯彬、佐藤田鶴子、山崎芳昭、福田仁一、  
江里口 彰、寺下正道、上西秀則、伊藤公一、  
栗原英見、荒木孝二、佐々木啓一  
日本歯科総合研究機構  
<研究部長> 石井拓男  
欠席者 <常任理事> 後藤滋巳

[議長 黒崎総務理事]

### 1. 開 会

住友副会長より、開会の辞。

### 2. 挨拶

江藤会長より、挨拶がなされた。

### 3. 報 告

#### 1) 一般会務報告

黒崎総務理事より、次の資料に基づき、報告がなされた。

一般会務報告（平成22年6月14日～7月4日）

第3回常任理事会報告

2) 第 22 回日本歯科医学会総会準備状況報告

川添会頭より、専門・認定分科会との共同催事について、現在検討中の旨、報告がなされた。

3) 会計現況報告

代表者会議で報告することにした。

4) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供

▶平成 20 年度プロジェクト研究報告について

佐藤常任理事より、資料に基づき報告がなされた。

A. 新生体材料・新加工法の歯科臨床導入に関するプロジェクト研究

i) CAD/CAM システムを用いたセラミックス修復の利用ガイドライン

(代)宮崎 隆 昭和大学歯学部教授／(申)日本歯科理工学会

ii) ファイバーポスト併用レジン支台築造の診療ガイドラインの確立

(代)福島俊士 鶴見大学歯学部教授／(申)日本補綴歯科学会

B. 新しい検査法の歯科臨床導入に関するプロジェクト研究

i) 金属アレルギーの歯科検査システムの構築

(代)大島 浩 大阪歯科大学講師／(申)日本歯科理工学会

ii) 歯周病原細菌を指標とした選択的除菌の効果

(代)金子明寛 東海大学医学部教授／(申)日本歯科薬物療法学会

iii) 歯周病臨床データベースに基づき歯周病原細菌感染度を指標とした予防・治療の効果判定検査の確立

(代)高柴正悟 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授／(申)日本歯周病学会

C. 顎顔面補綴治療の展開に関するプロジェクト研究

i) わが国における顎顔面補綴治療の現状分析と診療ガイドラインの作成

(代)後藤昌昭 佐賀大学医学部教授／(申)日本補綴歯科学会・日本口腔外科学会

(2) 歯科医療技術革新の推進

理事会で報告することにした。

(3) 専門医制度の在り方の検討  
理事会で報告することにした。

(4) 学会機構の改革  
理事会で報告することにした。

(5) 国際連携の推進

- ▶ 第 98 回 FDI 年次世界歯科大学総会において審議予定の FDI 政策声明の検討について  
江藤会長より、標記声明に対する 3 分科会（日本歯科保存学会、日本補綴歯科学会、日本顎口腔機能学会）の意見について、資料に基づき報告がなされた。

(6) 歯科医学未来構想の構築  
理事会で報告することにした。

5) 会長報告

江藤会長より、日歯役員会提出資料に基づき、①日本栄養士会・日本歯科医師会の連携について～「食べること」を支援する取組の推進に向けて～②新型インフルエンザ対策総括会議報告書③疑義解釈資料（厚生労働省保険局医療課）④日歯役員合宿勉強会（ワークショップ）について⑤民主党による新成長戦略～「元気な日本」復活のシナリオ～⑥モデル・コア・カリキュラム改訂に関する「連絡調整委員会」及び「専門研究委員会」について⑦平成 23 年度制度・予算に関する要望書（日本歯科医師会）⑧日本歯科医師会会員年齢構成推移グラフ⑨次期「食育推進基本計画」策定に当たっての意見等⑩専門的口腔ケアに関する検討会（仮称）の設置について⑪ビスホスホネート系薬剤に係る副作用問題への対応について⑫医療産業研究会報告書、について報告がなされた。

6) その他

▶ 中医協報告

住友副会長より、6 月 23 日に開催された中央社会保険医療協議会総会（第

174回) について、資料に基づき報告。

▶評議員・予備評議員、学術研究委員の交替について

(日本小児歯科学会・日本歯科医療管理学会・日本老年歯科医学会)

黒崎総務理事より、資料に基づき報告。

▶第32回(平成22年度)沖縄研究奨励賞候補者の推薦について

黒崎総務理事より、資料に基づき報告。

全体の一括質疑応答として、

○プロジェクト研究について

江里口常任理事より、日歯会員にアピールするため、プロジェクト研究の平易な解説を日歯雑誌に掲載することを提案。江藤会長より、保険導入されたものを例示し、プロジェクト研究・ガイドライン・保険導入の相関関係や流れを会員に周知を図りたい旨、回答。

○医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬について

石井研究部長より、癌の未承認薬セツキツマブ・パクリタキセルについて、歯科領域で適用が認められるのか質したところ、住友副会長より、認められる旨、回答。さらに、石井研究部長より、日本口腔顔面痛学会の要望は歯科治療後神経因性疼痛に限定しており、逆に適応症の範囲が狭まる懸念がある旨、発言。住友副会長より、投与の実態を把握した上で検討したい旨、回答。

#### 4. 協 議

##### 1) 重点計画の推進

###### (1) 歯科医療への学術的根拠の提供

特になし。

###### (2) 歯科医療技術革新の推進

特になし。

###### (3) 専門医制度の在り方の検討

特になし。

(4) 学会機構の改革

特になし。

(5) 国際連携の推進

特になし。

(6) 歯科医学未来構想の構築

特になし。

2) 事業計画の推進

(1) 平成 21 年度学会会計収支決算

山崎常任理事より、資料に基づき諮られ、全会了承。

(2) 第 84 回評議員会の運営について

黒崎総務理事より、資料に基づき諮られ、原案どおり全会了承。

(3) 日本歯科医学会認定分科会登録申請に関する公示について

黒崎総務理事より、資料に基づき諮られ、全会了承。

なお、宛て先の名称については、黒崎総務理事に一任とした。

(4) 日本スポーツ・健康づくり歯学協議会参与への就任依頼について

黒崎総務理事より、資料に基づき諮られ、全会了承。

(5) 歯科薬物療法認定歯科医・歯科衛生士の認定制度について

黒崎総務理事より、資料に基づき諮られ、全会了承。

(6) 後援名義貸与について

黒崎総務理事より、資料に基づき諮られ、全会了承。

(7) 役員派遣について

黒崎総務理事より、資料に基づき諮られ、全会了承。

3) その他

全体の一括質疑応答として

○中医協審議の情報伝達について

栗原常任理事より、本学会会員への中医協審議の情報伝達について質問がなされ、住友副会長より、中医協のHP上で公開されており、各自積極的に閲覧し情報を共有されたいと回答。

5. 閉 会

井出副会長より、閉会の辞。